

平成11年11月10日

小野薬品フジヤマ工場 第7工場の竣工式を行う

当社がフジヤマ工場では昨年8月に着工しました第7工場が、15ヶ月を経てこの程竣工し、11月9日に竣工式を行いました。今後バリデーションを実施し、来年夏頃には操業を開始する予定にしております。

新製剤棟の第7工場は、国内はもとより海外のGMPにも対応できる、最先端の技術を集めた洗浄から包装までの注射剤一貫工場でありまして、作業の効率化、省人化、省エネルギーの推進、環境問題への対応、一貫した物と情報の一元化、ライフサイクルを長く保つための設備の増設性等を基本コンセプトとして設置しました。

今回のバイアル凍結乾燥製剤用設備は、ロボット等の活用で無人化を推進すると共に、各種検査、検知機器の導入によって、より品質の高い商品の安定供給を目指しています。

今後、今回と同規模のバイアル凍結乾燥製剤用設備とアンプル注射用製造設備を2期に分けて増設する予定としています。

第7工場の概要は、一部地下1階、一部地上2階建て、建築面積4670㎡、総床面積7393㎡、予定総工費は約130億円、今回の工費は約82億円であります。
